

産業保健研修会（2025年10月～2025年11月）

研修番号	開催場所 / 日時	テ マ	講 師	会 場 等
24	【出雲】 10月2日(木) 14:00～16:00	脳卒中による障害を伴う 労働者のための職場環境改善	労働者健康安全機構 中国労災病院 治療就労両立支援センター所長 豊田 章宏	出雲市民会館 302研修室 (専門2単位)
		脳卒中後の障害には、運動・知覚障害以外にもコミュニケーション障害や記憶・注意・感情・遂行機能障害などさまざまな高次脳機能障害もあり、その組み合わせや程度による個人差が大きいために対応に苦慮することも多い。職場が得ておくべき情報や対応について、患者の回復過程に沿って考えてみたい。		
25	【出雲】 10月4日(土) 14:00～16:00	ILO2022年国際じん肺分類を用いて 新規工業物質による 間質性肺疾患の実地読影	島根大学医学部 地域医療教育学講座 教授 長尾 大志 JA島根厚生連 健康管理センター長 日下 幸則	島根大学医学部 附属病院みらい棟 4階ギャラクシー (実地2単位)
		デジタル・レントゲン技術を用いたILO2022年版国際じん肺X線分類が上梓されたので、医療用高精細モニターを用いて、分類基準を教授する。ここ数年の日本で新期に発症報告された間質性肺炎、肺線維症イメージ(CTも含む)を、各自が読影票に記載することを目指す。		
26	【浜田】 10月23日(木) 14:00～16:00	石綿関連疾患の 胸部画像の読影実習	川崎医科大学総合医療センター 放射線科 教授 加藤 勝也 仙台循環器病センター 呼吸器内科 三浦 元彦	いわみーる 402研修室 (実地2単位)
		講義形式による画像診断のポイント解説(30分程度)の後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行う。		
27	【出雲】 10月25日(土) 14:00～16:00	災害時における産業保健の 役割と実務	吉積労働衛生コンサルタント事務所 代表 吉積 宏治	出雲市民会館 302研修室 (専門2単位)
		本研修会は、自然災害や大規模な事故の発生時における企業の産業保健関係者の果たすべき役割と、その実務対応について理解を深め、平時からの備えを強化することを目的としています。		
28	【松江】 11月6日(木) 14:00～16:00	障害のある人への 合理的配慮について	島根大学医学部 環境保健医学講座 教授 名越 究	労働会館 201中会議室 (専門2単位)
		令和6年4月1日から障害のある人への合理的配慮の提供が義務化され、事業者は雇用している人に対して合理的配慮が求められます。「合理的配慮」の内容は、障害特性やそれぞれの場面・状況に応じて異なります。本研修では、産業医として知っておくべき「合理的配慮」について解説します。		
29	【浜田】 11月8日(土) 14:00～16:00	メンタルヘルス不調者の 復職への対応 ～人事・管理職だけでなく、産業保健スタッフ も陥る落とし穴～	堤労働衛生コンサルタント事務所 産業医 堤 雄介	いわみーる 301研修室 (専門2単位)
		メンタルヘルスの課題で休職する労働者は増加傾向にある。復職に当たり手引きは示されているものの、関係者における適切な連携が図れてはいない場合も多い。今回は復職に際する目標設定や連携のあり方を再考する機会としたい。		
30	【浜田】 11月20日(木) 14:00～16:00	安全衛生行政の動向	島根労働局 労働基準部 健康安全課長 内久保 康孝	いわみーる 301研修室 (更新2単位)
		労働災害の発生状況、労働安全衛生関係法令の改正の概要のほか、高齢労働者の労働災害や転倒災害が増加している状況の中、遅れている、職場における労働者の健康づくりの必要性につき解説します。		
31	【出雲】 11月27日(木) 14:00～16:00	過重労働者・高ストレス者への 面談指導と報告書作成の実務	島根大学人間科学部 人間科学科 教授 磯村 実	出雲市民会館 302研修室 (実地2単位)
		過重労働者・高ストレス者支援のため、面接技術と報告書作成スキルを実践的に習得し、現場での応用力を高めることを目的とします。具体的な事例を用いて、面接のシミュレーションから報告書作成までを行います。		

研修番号25・26は定員各20名、その他は定員各30名